

学校法人市村学園 芦別みどり幼稚園

令和元年度 学校評価

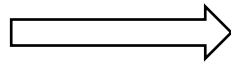
園長 須藤美紀子

1. 本園の教育目標・重点目標・幼稚園像

- ◆ 元気な子~~~~健康・安全で幸福な生活のための基本的な生活習慣、態度を育み健全な心身の基礎を培う
- ◆ 思いやりのある子~人への愛情や信頼感を育て、自立と協同の態度及び道徳性の芽生えを培う
- ◆ 考える子~~~~自然などの身近な事象への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培う
- ◆ 親しむ子~~~~日常生活の中で、言葉への興味や関心を育て喜んで話したりする態度や言葉に対する感覚を養うようにする
- ◆ 工夫する子~~~~多様な体験を通して、豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

*みんなとなかよく遊べる子 *元気に明るく挨拶のできる子 *ねばり強く最後まで頑張る子

- *子ども達にとって楽しい幼稚園
- *保護者から信頼される幼稚園
- *地域から愛される幼稚園



魅力ある幼稚園

2. 令和元年度の主な取り組みとして

- ・ 園庭に新たな大型遊具を導入し、子ども達の活動環境(遊び)の整備に努めた
- ・ 子ども達の安全を守るため、防犯カメラを一式取り替え工事を行った(ホール含)
- ・ 研修等を通し、より良い保育・教育に向け、教師の資質の向上を図った
- ・ 10月から導入となった“幼児教育無償化”への移行では、市と連携し 保護者への周知、申請書類の手続き等のスムーズ化を図った
- ・ 各クラス、副担任や補助教員の配置を充実させ、教師が安心して働ける職場環境を整えることにより、心にゆとりを持って、子ども達へのきめ細やかで丁寧な保育を行うことに努めた
- ・ 芦別市の幼児教育の充実のためにできる限りの支援・協力を努めた。また、幼児教育の目的、当園の教育方針・教育内容を保護者にしっかりと伝え、十分な理解を得た上で受け入れを行った
- ・ 保護者の社会的ニーズに対応し、今年度より行事の振替となる平日休みを全て失くし、一時預かりも含め通常保育を実施した

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

No	評価項目	取組み状況
1	研究・研修 教師としての資質や 保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none">◆北私幼が主催する北私幼研修、支部研修、道北ブロック研修大会等 園外研修に積極的に参加。各種研修や他園視察や交流会を通じて日々の保育を振り返り、参考にすべきことや反省すべき点に気付き理解を深めることができた。市内開催の異業種の会などにも積極的に参加し、視野を広げ 知識を向上させた。◆外部受講した研修内容は、学んだことを報告書にまとめ、職員会議等に於いて提供し、園内で情報共有を図る。この活動を通して、教職員間の理解を深め合うことに努めている。◆職員会議に加え、各行事の反省や日々の中で気付いたことを話し合う機会を設けている。園の目指す方向を共有すべく、活発な意見交換により教育・保育の原点を見失うことなく、個々の資質向上の充実を図った。

	<p>平成31年4月～ 令和2年3月 ☆研修会参加報告☆</p>	<p>◎令和元年 7月29日…北私幼 教育研究大会 (8名) 7月30日…北私幼 経営リーダー研修会 (5名) 8月24日…第1回 北私幼北空知留萌支部 保育者研修会 (8名) 9月27日…北私幼 札幌ブロック教研大会 (2名) 10月5日…北私幼 道北ブロック教研大会 (15名) 10月8日…芦別市防火協会視察研修 (2名) 10月25日…第2回 北私幼北空知留萌支部 保育者研修会 外部研修 (6名) 12月3日…北私幼 道北ブロック理事長・園長研修会 (2名)</p>
2	安全対策	<p>◆朝の自由遊びや園外保育の際に園児の動きを満遍なく見通せるように人員配置等しているが、ちょっとした際にトラブルや怪我が発生している。『みんなで見ている』ことに依存し過ぎないように徹底していく。事故等の状況把握も含め、防犯カメラをホールにも追加し、園庭等も含め 子ども達の安全をしっかり見守り、事故防止等に努めている。</p> <p>◆地震、火災など具体的事象の避難訓練を年3回実施。訓練では、回数を重ねるごとに迅速に避難ができるようになり、成果が得られた。</p> <p>◆昨年に引き続き、職員劇を交えた園独自の『交通安全教室』を開催。安全に関する視聴覚教材を通して子ども達に命の大切さを伝え、防犯・防災意識を高めた。</p> <p>◆毎学期初めに職員で園内外の遊具点検を行い、整備・修理が必要であれば 報告。修理・改善を行っている。</p> <p>◆保育中の安全確保について、事故や怪我に繋がる可能性がある事項等を教師間で話し合い、子ども達にもクラス内や集会での声掛けを徹底した。その結果、ケガ等が減少傾向であるが一方で手をつかずに転ぶ子が多く、前歯をぶつけ受診するケースが多い。</p> <p>◆園内でのケガによる対応手順の理解を深め事故発生時における管理者への連絡や情報共有の徹底。また、事故の発生を未然に防ぐために安全策の検討、実施に努めた。</p>
3	情報公開	<p>◆園便り・行事のお知らせや必要に応じて発行されるお知らせ等で情報提供、様々な連絡事項等を詳しく伝えられるよう工夫している。</p> <p>◆ホームページを活用し、子ども達の園内外での活動や行事などの取り組み、給食メニュー、欠席状況を毎週末に新着情報として発信。また、感染症情報等必要に応じてその都度ホームページや便りを通して保護者に周知徹底を心掛けた。今年度、2月末から一気に拡大した“新型コロナウイルス感染症”の対応策等もホームページを活用し、保護者に周知、行事の実施内容の変更について等迅速に発信し、対応した。</p> <p>◆毎月、市内広報誌やポスター、北海道新聞社発行“各学校行事一覧表”（折り込みチラシ）に子育て支援情報（未就園児親子教室の</p>

		日程等)を掲載し情報発信をしている。
4	地域社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ◆滝川地区広域消防事務組合消防演習並び芦別消防演習(消防)への協力(年中長児) ◆中学生・高校生による職場体験の受け入れを積極的に行い、働くことへの意義や進路意識、目的意識を高めていくにも大切な活動として協力を努めた。 ◆芸術文化交流館に全園児の絵画出展。訪れる保護者も多く入館者も年々増えている。他、芦別市文化連盟や芦別市民生委員のイベント、図書館や市内銀行等にも園児の絵画出展(地域事業への協力) ◆ロータリークラブとの交流会を通し、挨拶等のコミュニケーション能力優しい心、社会的知識の育ちも見られた。 ◆地域の文化財、自然等をよりよく教育資源として活用していくことができるよう検討していく。
5	一時預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> ◆通常保育との連携性やクラス担任と預かり保育担当者との連携、引き継ぎを密に取り合い援助を速やかに行った。 ◆幼稚園型(在園児対象)、一般型(2歳児対象)と年々預かり保育を利用する家庭が増え、利用者側のニーズに応え本年度は、実施日: 平日 229日/休日 37日・延べ人数 8,653名が利用。今後も支援の充実に努める。 ◆園児の2/3の保護者が共働きという社会的ニーズに対応し、今年度より行事の振替となる平日休みを全てなくし、一時預かりも含め通常保育を実施した
6	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども子育て支援事業として2歳児親子教室を開設。5月より2歳児親子を対象に18回のプログラムで“ちびっこランド”を開催、15組が参加した。就園前、幼稚園の雰囲気慣れることが出来、入園に向けてスムーズであるとの利点が保護者からも大変喜ばれた。また、この事業に参加から園の雰囲気等を知っていただく良い機会となり満3歳児への入園希望者も増えている。 ◆地域に周知させるよう、園ホームページへの掲載、市内各所にポスター掲示、市内広報誌への掲載などに努めた。
7	幼小連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆一日入学では、小学校を知り入学に期待が膨らむ体験となった。 ◆年度終了時には、卒園児の幼児指導要録の抄本を進学先に送付し、また市内小学校とは指導や配慮の参考にしてもらう主旨も含め、引き継ぎ会を開いた。幼少連携の重要性について共通の認識を持つことが出来今後の連携活動の在り方についても密に協議を行った。 ◆市内小学校の地域参観日に参加。卒園した子ども達の学校での様子や授業を見学。
8	保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ◆一人ひとりについての健康状態を把握するよう日常の健康観察に努めた。内科・歯科検診、視力検査(年長)の健康診断の実施と情報提供に努めた。

		<p>◆例年、“救急時対応:安心カード”を作成し、子どもの健康状態が把握でき大変役立った。</p> <p>◆感染症拡大予防のため、流行する時期やその時の状況によって早めの対応策として、注意喚起のお知らせをホームページや文書での発信した。また、子ども達に登園の際、必ずマスク着用をお願いしたことでインフルエンザや胃腸炎などの感染症罹患者が例年に比べ激減した。</p>
9	行事について	<p>◆毎年の行事を引き継ぐのではなく、その年の実態に合った内容を吟味し、計画を立て実施した。</p> <p>◆連携施設“附属保育園リリー”と毎月開催の『誕生会』や『運動会』『クリスマス会』等、園行事と一緒に参加し、園児と交流した。</p> <p>また、2歳児は 満3歳児で幼稚園入園に向けた準備段階として月に2回、午前中のみ年少組と一緒に活動。園生活の流れにも慣れ、幼稚園への入園もスムーズである。</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症の拡大が世界中で懸念される時期に開催となった『卒園式』は、参加者の人数を制限や式の流れを短縮化する等の対応をし、無事に終了した。</p>
10	保護者への対応	<p>◆保護者への対応は、園長または理事長とも相談し進めているため大きな問題は発生していない。また、園内の協力と支援、情報の発信、クレームの対応等については、相手の意見を汲み取りながら信念を持って取り組んだ。</p>
11	食育	<p>◆食育を保育の重要な領域と考え健康な身体づくりと食への感謝の気持ちが芽生えるようカリキュラムの見直しをしながら取り組んだ。</p> <p>◆年長児の野菜栽培体験から園児の食への興味や関心を高める保育の実践を行った。</p>
12	法人及び園の運営	<p>◆社会的・時代的要求に応えつつ、学校法人としての建学の理念に基づき運営できるよう努力してきた。</p> <p>◆市内だけではなく、地域の企業説明会に積極的に参加。高校生から短大生等に幼稚園教諭という仕事の魅力についてアピールし、人材確保に努めた。</p>
13	財務状況	<p>◆監事監査、公認会計士監査を受けており、当園の財務は適正であり園運営においても適正に運営されているとされていると認められている。</p>

学校関係者評価委員による意見・評価

- *教職員が明るく活気に満ち、真剣に保育に取り組む姿勢は大変評価できる。また、元気な挨拶や笑顔には来園するたびに感心し、その影響は園児たちの挨拶からも伺える。これからも次世代を担う基礎作りに期待している。
- *年々、ホームページの内容が充実している。園の取り組みや園の良さをHP上に載せることにより保護者にも未就園児にも園の様子を理解してもらうにはとても良い手段であり、今後もどんどん活用すべきであり学校関係者評価にも繋がる。
- *現在も終息の見通しが見えない“新型コロナウイルス感染症”。2月末、緊急事態宣言が発令された際もHPを活用し、保護者に行事内容の変更や園の対応策について迅速に発信、対応。市内の感染拡大状況(感染者“0”)を鑑み、通常通りの保育を実施。共働き家庭等保護者のニーズに応えた措置を大いに評価する。今後もしっかり状況を把握した中での対応を行って欲しい。
- *防犯カメラの増設は、子どもの安全を第一に考えた防犯、事故対策の取り組みとして大変評価できる。引き続き、安全・安心な保育が提供できるよう努力して欲しい。
- *幼児教育無償化に伴い、詳細が確認でき次第 保護者への周知として、段階ごとにのお知らせを発行するなど早めの取り組みもなされていた。早め早めの対応により、申請書等の書類提出もスムーズで移行に際しても適切な対応であった。
- *園の方針に則り、意欲的に保育に努め、若い教諭とベテラン教諭で知識や技術の共有がなされ時には刺激し合い、互いの向上効果に繋がっている。
- *各研修会に積極的に参加し、各職員が自己を見つめ 他の職員の意識や反省を共感することで資質の向上を図っていることが伺える。
- *市内だけではなく空知管内等の“企業説明会”に積極的に参加し『幼稚園』『保育園』の仕事内容や幼稚園教諭や保育士の資格取得の流れについて等アピールし、人材確保に向けて積極的に取り組んでいる努力が感じられる。(下記、企業説明会に参加)
 - ・令和元年11月14日(木) なかそらち合同企業説明会
 - ・令和元年12月6日(金) 芦別市合同企業説明会
- *行事活動等、保護者参加の取り組みでは 親も一緒に楽しんでいる。子どもとの共通話題が出来ることで親子の会話も増え、良い傾向と考えられる。地域に溶け込んでいる幼稚園だと感じる。

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、3月に予定されていた会議は“書面会議”で実施し、各委員より“意見”・“評価”をいただきました。